

鹿児島県

事業所管：鹿児島県農政部農政課
地域事務局：さつまいも産業振興協同組合

● 新たな品種を活用した商品開発と普及を通じて品種の切替を促進

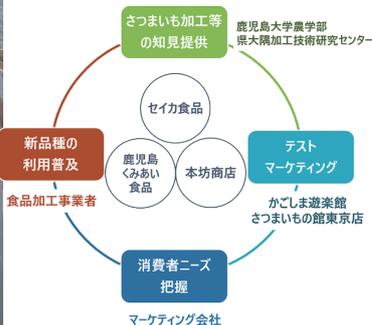
いまだに収まっていないサツマイモ基腐病に対処するため、生産者・加工事業者・小売事業者、その他関係機関が連携し、基腐病のリスクが相対的に少ない品種を導入し、需要を開拓する。

LFP パートナー数

12社・団体
(2023.3 現在)



芋の風味を生かした飴菓子。



新たなビジネスの価値

- 基腐病対策で導入する新たな品種について、加工事業者や小売事業者が加工適性などの知見を共有することで、新たな品種の普及につながる活用用途を開発。
- 個々の事業者では対応できない課題に対し、事業者が連携して供給量問題などのリスクも理解して活用することで、生産者の品種転換を促進。

プラットフォームの体制

- さつまいも産業振興協同組合を地域事務局とし、組合員である加工事業者や小売流通事業者に加え、生産者や大学、県支援機関等が参画。

鹿児島くみあい食品（生産者）、セイカ食品、九面屋、富士屋製菓、唐船峡食品、唐船峡食品さつまフーズ（食品加工事業者）、山形屋産業開発、本坊商店、かごしま遊楽館、さつまいもの館東京店（流通事業者）、日本有機（製造業）、鹿児島大学農学部、県大隅加工技術研究センター（研究機関）。

新しい取組・仕組みづくり

- LFP パートナーが連携して新たな品種の活用に努めて川下側から需要を掘り起こし、川上側にフィードバックすることにより、いち早く品種転換を促す地域連携の新たな品種への転換方式。

ビジネス創出のプロセス

- 戦略会議のワークショップで、参加しているLFP パートナーの強みについて情報共有。
- 消費者モニターによるオンライン座談会を開催し、さつまいも商品に対する評価や購入時のポイントなどを確認。
- 戦略会議等の検討結果を踏まえ、新商品開発の事業計画書をもとに中核事業者を選定、さらに関わる事業者を選定し組織化。



戦略会議の検討風景。